

【10-3-4】 主要科目の特長（商学部経営情報学科）

経営情報学科の教育課程（カリキュラム）を構成する各科目群・分野の内容は次のとおりです。

(1) NGU 教養スタンダード科目

キリスト教に関する科目

＜キリスト教＞に関する科目は、キリスト教主義大学である本学の核心です。必修科目の「キリスト教概説」「キリスト教学」では、世界の文明に大きな役割を果たしたキリスト教を、人間、歴史、社会、生命などとの関わりにおいて考え、世界に通用するしっかりとした人間観・世界観を築く足がかりとします。

自己理解と自己開発に関する科目

1年生の必修科目である「基礎セミナー」では、少人数クラスで「大学で学ぶことの意義」について理解し、有意義な大学生活を送る足がかりを形成することを目的としています。さらに、大学での学びを促進させるスキルの習得をめざして、授業を受ける技術、プレゼンテーションの技法、情報検索の方法など、2年次以上のゼミナール活動の基本となるスキルについて学ぶことを目標としています。また、「キャリアデザイン1a～3b」などの科目を配置して、「将来なりたい自分とは何か」についてしっかりしたイメージを養うとともに、職業を考え将来のキャリアを設計するための足がかりとします。

社会的教養に関する科目

＜人間理解＞、＜社会理解＞、＜自然理解＞、＜歴史文化理解＞、＜環境理解＞、＜身体理解＞（＜身体理解＞）、＜地域理解＞

自分で考える力を養い、深みのある人間性を身につけるためには専門の学修だけでなく、一般教養の修得が欠かせません。文学、哲学、心理学を学ぶ＜人間理解＞、社会のしくみを考える＜社会理解＞、自然をさまざまな角度からながめる＜自然理解＞、人間や世界の文化や歴史を学ぶ＜歴史文化理解＞、地球環境や生態系について考察する＜環境理解＞、スポーツの実技と理論、健康について学ぶ＜身体理解＞（＜身体理解＞）、まちづくりを多様な視点から考える＜地域理解＞の中から、バランスのよい履修を心がけてください。

言語とコミュニケーションに関する科目

外国語については、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」、「韓国語」の6カ国語を学ぶことができます（リハビリテーション学部、スポーツ健康学部は英語科目のみ）。また、「手話」や「日本語表現上級」も学修することができます。

情報理解に関する科目

情報教育の充実は、本学の大きな特色です。全学生にノートパソコンを配付し、すべての学生がコンピュータを使って学べるように指導しています。必修科目の「情報処理基礎」では、コンピュータやネットワークの基本的な利用方法を半年間でマスターします。

教職に関する科目

ここに設置されている科目は教員免許取得をめざして教職課程に加入している者だけが受講できる科目です。実際に教員免許を取得するためには、教職課程履修規程にもとづき、この領域の科目に加えて、その他の指定された科目を履修する必要があります。

(2) 専門科目

①<<学部共通科目>>

学部共通科目には、「商学総論1・2」「経営学総論1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学1・2」を配置しています。いずれも必修科目であり、商学の基礎を学修します。

②<<学科選択科目>>

<<総合>><<情報>><<マネジメント>><<展開科目>>から構成されていますので、各自の学修上の関心に応じて体系的にかつバランスよく履修することが重要です。<<情報>>では、情報および情報システムによる経営管理・経営革新の理論と実践について学修する諸科目を配置しています。<<マネジメント>>では、企業経営について、社会、地域および地球規模などのネットワークの視点から、ICT活用による企業の持続的発展への貢献について学修するべく、3つの科目群（地域ブランドに関する学修、リテール・マーケティングの国際化を中心にして、国際ビジネスの展開に関する学修、サービス・ホスピタリティ戦略に関する学修）を配置しています。<<展開科目>>では、経営実践、ビジネス外国語などを学修する諸科目を配置しています。

a) <<総合>>は、「専門演習」（ゼミ）と商学・経営学の基盤科目から編成されています。

「専門演習」（ゼミ）は、学生各自が関心を有する専門的な内容を学び取るために、2年間にわたって少人数でテーマに関する調査、報告、議論、講読をおこないます。学生は、「専門演習」（ゼミ）における学修・研究の成果を発表するために卒業論文を作成・提出します。

b) <<情報>>には「情報ビジネス論」「情報リテラシー」などを配置しています。

c) ≪マネジメント≫には、「地域ブランド論」「国際マーケティング論」「ホスピタリティ論」などが配置されています。

d) ≪展開科目≫は、「ビジネス英語」「ビジネス中国語」「ビジネス韓国語」などを配置しています。

(3) 演習科目

①「基礎セミナー」

1年次配当の必修科目です。授業は少人数でおこなわれ、導入・基礎教育を主要な目的にします。大学では、自分で調べ、考え、整理し、論理的に文章をまとめることが求められるようになります。「基礎セミナー」では、大学での学習方法、レポートの書き方、個人やグループでおこなう発表方法などを身につけます。さらに、学生生活を送る上での基本的な心構え（ソーシャル・スチューデント・スキル）を養います。

②「専門演習」

「専門演習」（ゼミ）は、3・4年次の2年間受講し、社会で活躍できる知識の獲得および人格形成に向けた「学び」を展開します。ゼミは少人数でおこない、専門的なテーマについて深く研究します。さらに、学生の研究発表を中心にし、教員とゼミ生との間、ゼミ生間のディスカッションを活発におこないます。かくして、ゼミは切磋琢磨の場であり、その結果、ゼミ生の間には強い仲間意識が醸成されます。

◎専門科目の一部をピックアップ

経営シミュレーション

パソコンで企業経営のシミュレーションを行い、経営における問題の分析を行います。分析の手順だけでなく、シミュレーションを行うために必要なICTスキルや統計知識、分析結果を実際の経営に活用する方法などの修得も目的とします。

国際マーケティング論

「文化や民族が異なる市場にどのように適応していくのか」を主題に、日本とは大きく異なる海外での企業活動について学びます。アメリカやヨーロッパ、アジアの国際企業の活動実態を取り上げ、事例研究を通して理解を深めます。

コンテンツビジネス論

映画や音楽、アニメ、ゲームなどのコンテンツは、スマホアプリやWebサービスでも提供されるようになり、利用シーンやビジネスモデルが急速に多様化しています。講義では、そんなコンテンツビジネスの仕組みや構造を理解し、実際の手法についても学びます。